

先天性食道閉鎖症に対する胸腔鏡手術におけるラーニングカーブの解析に関する他施設共同研究のお知らせ

大阪大学小児外科では関連施設との他施設共同研究として、以下の疫学調査研究を実施しております。

平成 29 年 4 月 5 日

【研究機関】

実施承認後から 2018 年 3 月 31 日まで

【調査対象】

先天性食道閉鎖症に対する胸腔鏡手術を実施した 2016 年 12 月 31 日までに手術を行われたお子様。

【研究機関名】

大阪大学小児外科、大阪母子医療センター、近畿大学奈良病院

【目的】

本研究の目的は、先天性食道閉鎖症に対する胸腔鏡手術（本術式）のラーニングカーブ（*）を明らかにすることです。

*：ラーニングカーブとは、学習曲線または経験曲線のことです。本研究では、経験の累積による手術所要時間の短縮の有無を検討しています。

【研究方法】

1) 過去 10 年間に上記医療機関で手術が行われた先天性食道閉鎖症に対する胸腔鏡手術が行われた症例を対象として他施設が共同して調査を実施します。

2) カルテに記載された、手術結果（開胸移行の有無、手術時間、術中合併症、出血量、輸血量）、術後合併症（縫合不全、吻合部狭窄、など）の情報を集積し、大阪大学小児成育外科データセンター（大阪）において結果の集計を行います。

3) データの集計結果から、先天性食道閉鎖症に対する胸腔鏡手術のラーニングカーブを明らかにします。

【意義】

本研究により明らかとなるラーニングカーブは、本術式をはじめとした高難度手術のトレーニングプログラムを作成するにあたっての基準となることが期待できます。

【個人情報の取り扱い】

患者さん個人を特定できるような情報はデータセンターには送付いたしません。個人情報を含まない集計結果のみを国内外の学術集会・雑誌に公表することがあります。個人情報を含まない集計結果のみの公表のため、個人情報は保護されますのでご安心ください。本研究は疫学研究であるため、情報を集計するにあたって必ずしも患者さん、あるいはご家族の同意を頂いておりません。もし、研究参加の撤回を希望される方がいらっしゃる場合には、下記研究責任者までご連絡ください。

【本研究に関する問い合わせ先】

当院研究責任者： 大阪大学小児成育外科・教授 奥山宏臣

〒565-0087

大阪府吹田市山田丘 2-2

大阪大学小児成育外科

電話：06-6879-3753 Fax：06-6879-3759